

日東工器グループ

サステナビリティ基本方針
マテリアリティ

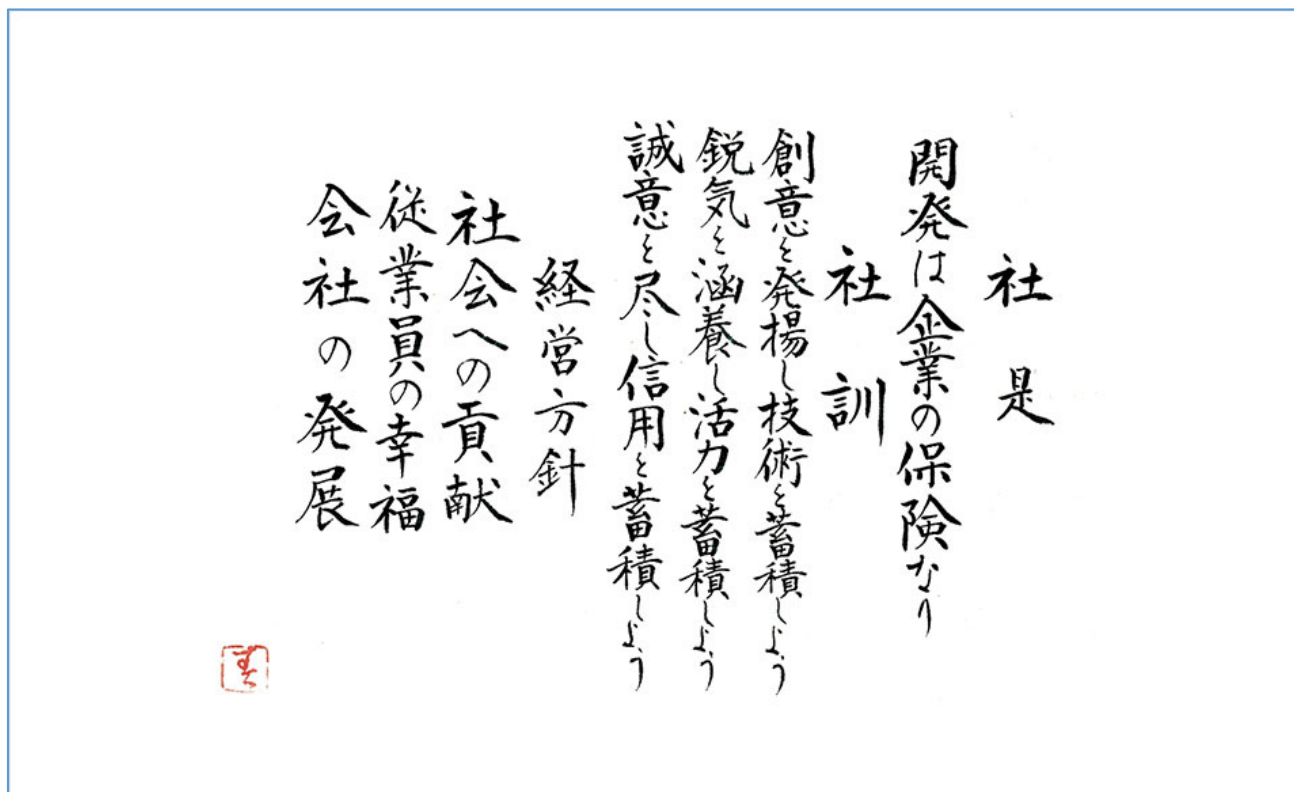
制定

2023年11月24日
日東工器株式会社

日東工器グループは、社会と当社のサステナビリティ（持続可能性）の実現のため、「サステナビリティ基本方針」「マテリアリティ（取り組むべき最も重要な課題）」を制定しました

日東工器グループ サステナビリティ基本方針とは、

- ・創業以来掲げてきた、経営方針をサステナビリティの観点で補完するもの
- ・日東工器グループのサステナビリティに関する考え方を示すもの



サステナビリティ基本方針

私たちは、社会への貢献、従業員の幸福、会社の発展という経営方針の実践を通じて、社会の、そして当社のサステナビリティの実現を目指します。

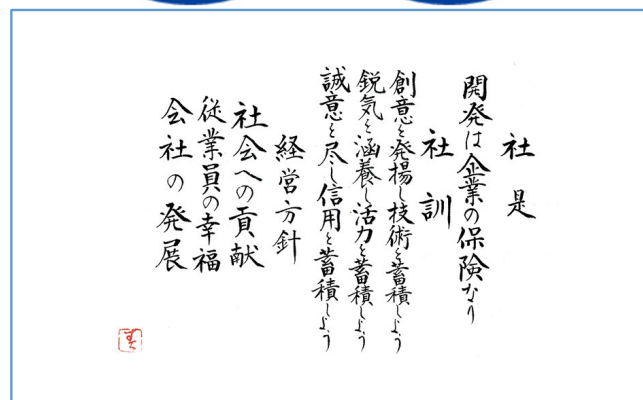
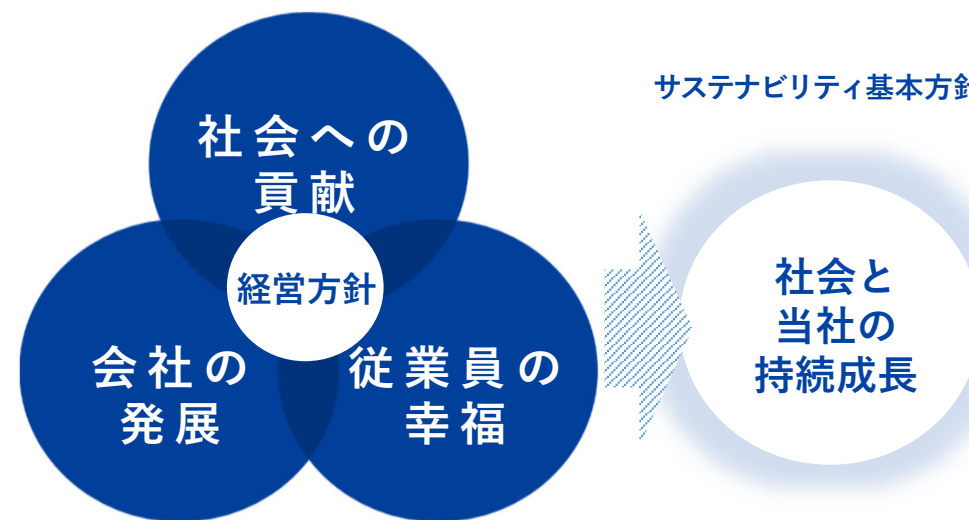
当社の経営方針は、「社会への貢献、従業員の幸福、会社の発展」です。

これはまず、「省力・省人化」をテーマに時代のニーズに応える独創的な製品を開発、製造、販売し、広く社会に貢献することを目指します。

次に、経営活動を通じて、従業員とその家族が幸福になることを目指します。

そして最後に、社会への貢献と従業員の幸福を実現することで、企業の発展を目指します。この実践することは、すなわち社会のサステナビリティの実現と、当社の持続的な成長との両立を目指すことと同義であると考えています。

サステナビリティ基本方針



日東工器グループと社会のサステナビリティ（持続可能性）を実現するために、経営方針と関連する、マテリアリティ（取り組むべき最も重要な課題）を制定しました。今後これらの実現に向けて努めてまいります

経営方針	マテリアリティ
社会への貢献	<ol style="list-style-type: none">1. 事業活動を通じた地球環境への貢献2. 産業界の省力・省人化と自動化への貢献
従業員の幸福	<ol style="list-style-type: none">3. 「技術で、人を想う」人材が集い、活躍する環境の実現
会社の発展	<ol style="list-style-type: none">4. 持続可能性を高めるガバナンスの構築5. ステークホルダーとの相互理解の促進6. サステナブルなサプライチェーンの構築

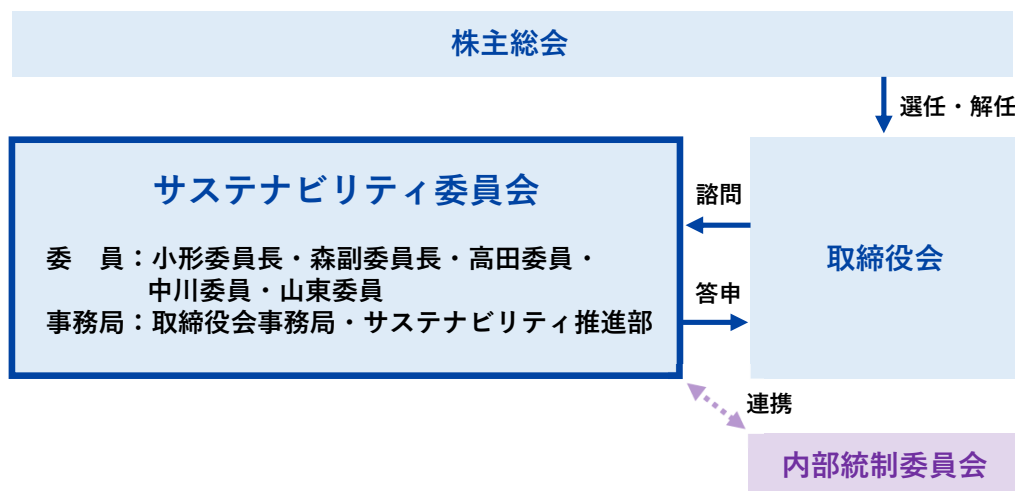
サステナビリティ委員会の設置

サステナビリティに関する、基本方針やマテリアリティ（重要課題）の審議、サステナビリティに関する各種確認を行う組織。多様な視点を考慮したメンバーで構成しています

日東工器サステナビリティ委員会

- 取締役会の諮問機関として2023年5月10日に設置
- 各種審議を行い、取締役会へ答申します

組織上の位置付け（2023年5月10日現在）



委員会構成メンバー

委員長 代表取締役社長
小形 明誠

副委員長 取締役
専務執行役員 管理統轄
森 憲司

委員 取締役
高田 揚子

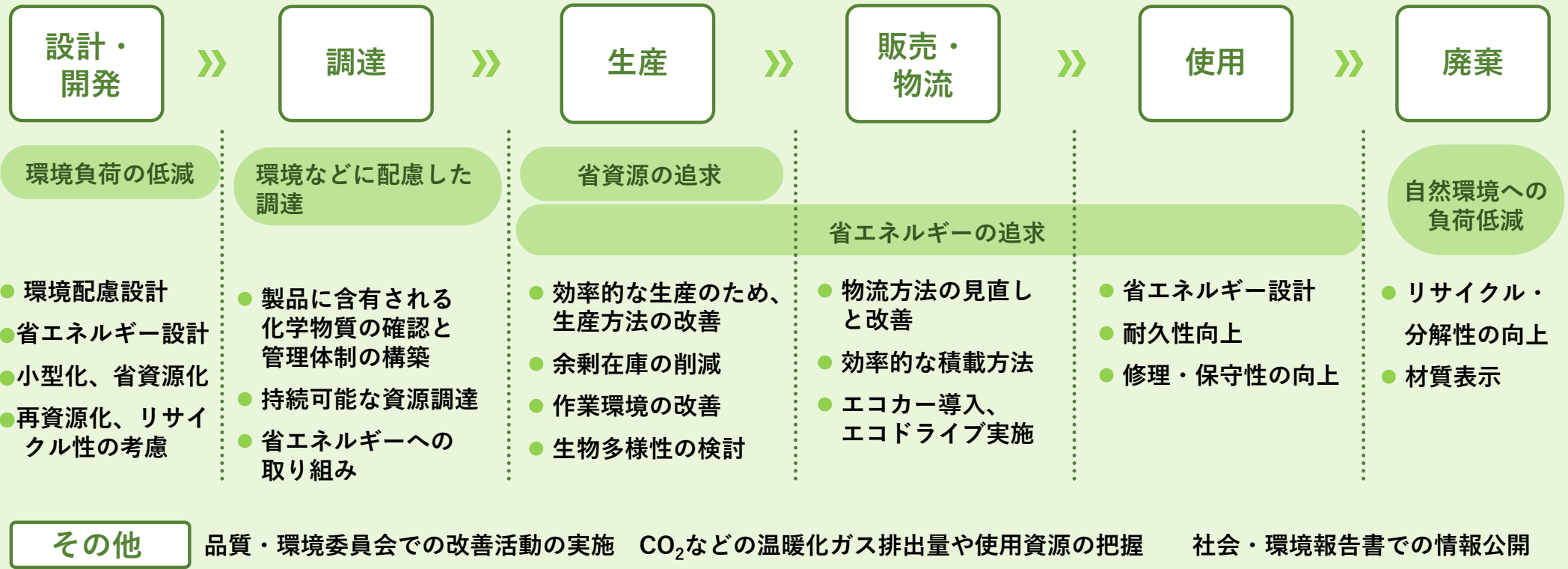
委員 社外取締役
中川 康生

委員 社外取締役
山東 理二

- 必要に応じて、社内関係者および社外有識者などを臨時出席者として招聘します

環境負荷の低減や、環境に配慮した活動を通じて、環境と人に配慮した持続可能な活動を推進しています

2001年に「ISO14001」認証を取得し、環境負荷の低減を推進



環境活動・社会地域貢献活動・ステークホルダーの皆様との関係などをはじめとする、「サステナビリティ」に関連する各種情報は、当社「Webサイト」や「社会・環境報告書」などをご覧ください

<https://www.nitto-kohki.co.jp/company/citizenship/>



企業価値向上のため、サステナビリティに関する活動を推進してまいります

- サステナビリティ基本方針およびマテリアリティに基づく活動のスタート（2024年度）
- 統合報告書の発行（2024年8月発行予定）
 - ※ 統合報告書：財務情報（売上や利益など）だけでなく、非財務情報（企業理念、ビジョン、ビジネスモデル、技術、ブランド、人材、ガバナンス、環境、サステナビリティなど）を取りまとめた報告書